

全老連

2019. **8** 第466号

各地の活動から



困りごとを解消 「手助けしてあげ隊」

横浜市港南区 しおん 紫苑会

私たちのクラブは入居開始から40年を超えた300世帯、4棟の集合住宅にあります。住民の高齢化に伴い、「大型ゴミを出したいけど、重くて運べない」「蛍光灯を取り替えたいけど、高いところの作業ができない」などに困っている人が増えてきました。

「自宅に伺って、困っている人を手助けしてあげたい」と友愛部会で検討を重ね、平成28年10月に「手助けしてあげ隊」を立ち上げました。

「地域に貢献できる高齢者」を目指し、「孤独」になっても「孤立」はさせない、助けられる仕組みを作っていこうと、多少の力仕事であることを前提に、クラブ会員以外の住民からも隊員を募りました。現在は25～26名、女性隊員も含まれ、33件の困りごとの実績を重ねています。

全老連会長に 清家篤氏就任

全老連では6月18日、評議員会における斎藤十朗会長の退任表明を受け、理事会を開催し、満場一致で清家篤^{せいけ あつし}氏を新会長に選出しました。

清家氏は、労働経済学を専門とし、若い世代の教育に携われ、平成21年から29年までの間、第18代慶應義塾長（学校法人慶應義塾理事長兼慶應義塾大学長）を務められました。

また、長く高齢者の就業問題や社会保障制度について研究され、労働政策審議会委員、社会保障制度改革国民会議会長、社会保障制度改革推進会議議長など、多くの公職も務められています。

このたび、本会とともに、全国社会福祉協議会及び中央共同募金会の会長にも就任されました。



清家篤会長 略歴

1954年生まれ（65歳）

出身地 東京都

【現 職】

全国社会福祉協議会会長

中央共同募金会会長

日本私立学校振興・共済事業団理事長

【主な公職等】

平成13年 高齢社会対策の基本的あり方に関する有識者会議座長（内閣府）

平成17年～25年 労働政策審議会委員（雇用保険部会長など歴任／厚生労働省）

平成23年 東日本大震災復興構想会議委員（内閣府）

平成24年～25年 社会保障制度改革国民会議会長（内閣官房）

平成26年～ 社会保障制度改革推進会議議長（内閣官房）

平成29年～30年 仕事の未来世界委員会委員（国際労働機関）

斎藤十朗前会長は、 全老連顧問に就任

また、同理事会において、斎藤十朗前会長の顧問への就任を満場一致で決定しました。

斎藤前会長は、平成 19 年 5 月以来、12 年にわたり会長職に就かれていました。

就任期間中は、「老人クラブ活動は健康づくり・介護予防そのもの」との信念のもと、老人クラブの活性化と会員増強を目指して、多くの取り組みを呼びかけられました。



感謝を込めて花束贈呈

【就任期間中の主な取り組み】

- 平成 23 年 東日本大震災被災地の老人クラブ復興に向けた「救援抛金運動」の展開
- 平成 24 年 天皇皇后両陛下をお迎えした「全老連創立 50 周年記念全国老人クラブ大会」の開催
- 平成 25 年 全老連の公益財団法人への移行
- 平成 26 年 老人クラブ「100 万人会員増強運動」の展開（～平成 30 年度）
- 平成 27 年 介護保険制度の改正にともなう「新地域支援事業」に向けた行動提案

全国老人クラブ連合会 役員名簿

会 長	清家 篤	新 石川 義成（新潟市老連会長）
副 会 長	村上 光夫（東京都老連会長）	三溝 芳隆（名古屋市老連会長）
	八十島 幸雄（福井県老連会長）	新 赤阪 修一（和歌山県老連会長）
	大辻 正忠（神戸市老連理事長）	中林 正樹（鳥取県老連会長）
	木下 治紀（佐賀県老連会長）	吉田 建太郎（岡山県老連会長）
	新 川端 幸枝（女性委員会委員長）	豊島 實（香川県老連会長）
	松寿 庶	鈴木 彬夫（高知県老連会長）
常務理事	齊藤 秀樹	新 篠塚 忠二（北九州市老連会長）
理 事	新 花田 吉治（札幌市老連会長）	新 頼廣 安子（女性委員会委員長）
	新 松坂 尚（仙台市老連会長）	兼子 久（元 事務局長）
	新 伊藤 達也（茨城県老連会長）	新 正立 斉（事務局長）

北から南から

滑り止めの砂を ペットボトルに詰めて地域に貢献

札幌市北区 屯田地区老人クラブ連合会 ● 11 クラブ ● 会員数 600 名

「今年は 800 本、取り掛かってください」の声で合図に集まった人たちの手が動き出します。「まちづくりセンター」に運び込まれた空きペットボトルに、滑り止めの砂を詰めた「砂ボトル」作りは、秋の気配が漂う 9 月下旬、北国でみられる特有の風景です。

人口 200 万に迫る道都・札幌市。積雪の多いことでも知られ、同じ規模の都市としては世界に類をみない積雪対策に重点が置かれています。

除雪作業や、町中でも積雪によって歩行者が転倒するなど、北国特有の災害や事故があり、滑り止めの「砂袋」やペットボトルに滑り止めの砂を入れた「砂ボトル」が施設や交差点などに無料で配付されています。

老人クラブの PR も兼ねて

車用には大きめの砂袋、個人に配布する「砂ボトル」は歩行者用です。お茶やジュースが入っていた空のペットボトルに、少し粗めの砂を入れて出来上がり。これを地区の「まちづくりセンター」に置き、「ご自由にお持ちください」という仕組みです。冬の間、踏み固まった家の前の雪に撒いて、歩行者の滑り止めに役立っています。ボトルには「屯田老人クラブ」のシールを貼り、PR に



材料の砂とペットボトルは市が用意



冬道の安全を託して「砂ボトル」作り

も努めています。

この事業を始めて 8 年余り、多いときには千本を作りました。残った「砂ボトル」は、翌年に持ち越します。砂を入れる道具類もペットボトルを切って工夫して作っています。

地域に貢献するクラブ

札幌市北区に位置する屯田地区は、明治期に「屯田兵」による開拓が行われ、当初は稲作が中心の農村でしたが、近年は札幌市のベッドタウンとして宅地化が急速に進み、人口が増えています。

屯田地区老連には 11 のクラブが所属しており、ふれあい・いきいきサロンの活動が盛んです。また、毎年 9 月に開催されている、ふれあい福祉週間には、社会福祉協議会、連合町内会と一緒に、地区センターにおいて、輪投げ大会、講演会、演芸大会、一人暮らしのお年寄りとの昼食懇談会など、盛りだくさんの行事を行っています。こうした日頃のふれあいがきっかけとなり「砂ボトル」作りは始まりました。毎年 30 ～ 40 人が参加しています。

今後も「地域に貢献するクラブ」をめざし、奉仕活動に頑張っていきます。

(屯田地区老人クラブ連合会会長 村野 新助)

北から南から

交流の場を増やして 8年連続会員増

京都市南区すこやかクラブ（区老連） ● 82クラブ ● 会員数 4,793名

ボウリング親睦交流会、ペタンクの普及、お花見ウォーキング、カラオケ大会、ウォーキングを兼ねたバスツアー、京都南座の観劇…。会長就任以来9年間、毎年新しいことを取り入れて、発展性のある老人クラブづくりを目指してきました。その一つに3年前から取り組んでいる同好会活動があります。クラブや学区での身近なつきあいに留まらず、地域を超えているいろいろな会員と交流することで新しいつながりもでき、楽しみが広がると考えています。

四つの同好会

現在取り組んでいる同好会は四つ、社交ダンス、囲碁・将棋、健康麻雀、写真です。運営は、担当者を決めて行っています。

「社交ダンス同好会」は月3回開催、市老連の「社交ダンスのつどい」に参加することを目指して立ち上げました。「囲碁・将棋同好会」は毎週1回開催、市老連大会で好成績を残しています。今年度から「写真同好会」も始め、これまでに2回撮影会を実施しました。

1日楽しめる健康麻雀同好会

人気が高いのは「健康麻雀同好会（サロン）」



大人気の健康麻雀



サロン活動を会員増につなげる

です。毎週水曜日午前10時から午後3時30分まで開催しています。ルールは「ねんりんピック」に準じ、ローカルルールも作っています。ゲームは1時間（1日4回）、毎回メンバーを変えて対戦できるよう配慮しています。初心者に対する講習会は行っていませんが、経験者が後ろから指導しています。同好会では昼食の時間も楽しみの一つになっています。各自弁当を持参して、おしゃべりしながら食事をしています。この他、2か月に一度は予選会、決勝の順で大会を開催しています。

参加者は徐々に増えて、多い時は40人近くになっています。麻雀卓も4台でスタートしましたが、足りなくなり追加して現在8台になりました。年齢層は60～90代まで幅広く、女性も多く参加しています。未加入者の方には、働きかけて全員（8名）会員になってもらいました。

こうした取り組みを通じて、区老連では8年連続で会員が増えました。また、女性の単位クラブ会長も増えて50%を超えました。会員が増えて地域でのつながりが広がることで、地域はもっとよくなると思います。

（会長 三浦 明）



いちようだより

異動報告

北海道老連会長	鈴木 敏市	(6月14日付 前任者 寺山 正吉)
岩手県老連会長	村田 東助	(6月6日付 前任者 佐藤 達夫)
秋田県老連会長	児玉 長榮	(5月29日付 前任者 仲村 盛吉)
新潟市老連会長	石川 義成	(4月18日付 前任者 貝沼 英樹)
長野県老連会長	近藤 定利	(5月30日付 前任者 池上 弘祥)
静岡市老連会長	遠藤 日出夫	(5月14日付 前任者 永田 重郎)
愛知県老連会長	鈴木 雅雄	(6月25日付 前任者 大沢 勝)
京都市老連会長	西村 忠雄	(5月28日付 前任者 槇枝 正昭)
大阪市老連理事長	野口 一郎	(5月28日付 前任者 中 保昌)
堺市老連会長	辻 洋児	(5月30日付 前任者 橋本 宜和)
奈良県老連会長	中村 秀雄	(5月31日付 前任者 中西 憲治)
山口県老連会長	平田 武	(7月1日付 前任者 西川 三代子)
福岡市老連会長	檜橋 貞雄	(5月23日付 前任者 岡田 光生)
長崎県老連会長	内田 政信	(6月21日付 前任者 島中 英安)
沖縄県老連会長	新垣 昇	(6月21日付 前任者 山内 盛芳)

◆全老連のホームページから都道府県老連のホームページにつながります！

ホームページの表紙にある「都道府県・市連合会」をクリックすると、日本地図の画面に変わります(①)。次に、都道府県・指定都市老連名を選んでクリックすると、それぞれの県のホームページ(②)につながります。全老連のホームページの情報と合わせて、ぜひ、ご覧下さい。



①全老連ホームページの都道府県・市連合会トップ



②兵庫県のトップページ



高齢ドライバー

- 所正文 小長谷陽子 伊藤安海 著
- 文藝春秋刊 ● 新書判 230 ページ ● 830 円 (税別)

高齢者の交通事故が社会問題となり「免許更新時における検査や講習の実施」、「運転免許証の返還」など新しい対策が講じられようとしています。公共交通機関が十分に発達していない地域での移動手段は車に頼っているのが現状だと思います。

本書ではこれらの問題に3人の専門家がそれぞれの分野における視点で現状・課題・対策などが述べられています。

産業・交通心理学の先生は、高齢者と若年者の事故内容の違いなどから高齢ドライバーの運転能力や高齢者講習の問題点と免許自主返納の取り組みなど。

認知症専門医の先生は、「運転することは日常生活動作の中でも複雑で高度な機能を必要とする作業であり、特に判断力や注意力など認

知機能が運転には不可欠」とあり、運転に必要な身体と脳機能、高齢になって変化する身体機能と認知機能を解りやすく説明。

交通科学・医工学の先生は、高齢者の事故原因の分析、運転技術はどのように衰えるか、自動運転（運転アシスト）により身体の衰えをどのように補うのかなど。

高齢社会における交通対策全般について、いろいろな角度から意見が述べられています。本書により、まずは高齢ドライバーの現状を知ることからはじめては。

本田 哲朗 (前 長崎県老連事務局長)



みんなのひろば

サロン・ド・清風会

名古屋市北区 清風会

「さあ、皆さん一緒に歌いましょう」

司会を務める世話人の声掛けで、懐かしい歌の合唱が始まります。名古屋市北区金城学区の清風会のサロン活動です。2年前から、毎月第2火曜日、午前10時から1時間半ほど開かれています。参加費は1回100円。会場は、会長が経営するコインランドリーの2階を利用しています。毎回20人前後の参加者があり、他の町内からの参加も受け入れています。プログラムは、カラオケ、クイズ、伊勢湾台風の体験発表などです。その他、認知症に関する講演会の案内など、情報拠点と

しての機能も果たしています。参加者からは「2年前に引っ越してきたが、サロンに参加するようになって仲間もでき、性格的にも明るくなった」「一人暮らしなので、サロンでおしゃべりするのが楽しみ」などの声が寄せられています。

閉じこもりがちな高齢者の外出のきっかけとして、サロンは大いに役立っています。



2020年、
さすがJAPAN!
って言われたいよね。

私たちはすべての挑戦を応援します。
To Be a Good Company
東京海上日動

東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

TOKYO 2020
TOKIO MARINE
NICHIDO
TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES
東京2020 ゴールドパートナー (損害保険)

SOMPO
ホールディングス | 保険の先へ、挑む。 | **損保ジャパン日本興亜**

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
Tel:03-3349-3111 <https://www.sjnk.co.jp/>

立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

編集後記 子供のころの夏休みの思い出と
いったら、みなさんは何を思い出
しますか？ 海水浴、虫取り、宿題……。
私はラジオ体操。スタンプカードを首にかけて、
毎朝、近所の公園に走って行き、ラジオから流
れてくる「みなさん、おはようございます！」の声
に大きな声で挨拶していました。目的はスタンプ

カード。ペラペラの紙にたくさん押されたスタ
ンプが勲章のようで、宝物のようにしていました。
あの歌も何だか好きで覚えています。今で
も前奏が流れてくると大きな声で歌ってしまいま
す。「新しい朝が来た、希望の朝だ」。みなさん
もご存じですね。

(敦)

投稿お待ちしております！

「みんなのひろば」(500字程度)、「私のクラブの“オリジナル”」(150字程度、オリジナル品の写真1～2枚)の投稿をお待ちしています。氏名、クラブ名、住所、電話番号を明記の上、お送りください。
〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル全国老人クラブ連合会 月刊「全老連」係